

項目別の自己評価表(専門学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①生徒・学生の増加(前年から継続)②業務過程の見直しによる効率化

計画: ①ホームページの刷新、進学サイト等を利用したWEB上での学校案内の充実、学校訪問の強化、パンフレットの改訂による授業内容・学生サポート体制等の周知

②組織・業務部門の再編成と各教職員の業務の洗い出し・再分担による整理

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、 不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色はあるか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

服飾業界のニーズといっても幅広くあるが、その中から、本校の学生にマッチしたものを特に捉えてより具体的に人材育成に反映させていくことが必要となる。

②今後の改善方策

実際に人材を送り出す先となる地域企業を中心に、連携を強め、具体的なニーズを聞き出し反映する。教育目標・育成人材像については形骸化に終わらぬよう、折に触れトップダウン型で再確認を行い教職員全員が常にそれを意識して行動できるレベルにまで浸透させる。

③特記事項

連携企業への働きかけを熱心に行っている。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、 不適切…1			

・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

IT化による業務効率化、意思決定の簡素化・スピードアップ(前年度より継続)

②今後の改善方策

IT化は順調に進んでおり、行政庁とのやりとりなど今後よりいっそうの効率化が期待できる。意思決定過程については組織の見直しだけでなく、各教職員の意識づけも必要。

③特記事項

昨年度の課題とされたウェブ等による学校情報公開は、ウェブサイトの刷新などにより基盤が整い、達成されつつある。

(3).教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1

・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視する伝統的校風を損なうことなく最新の職業実践教育を取り入れる方法を模索中である。

②今後の改善方策

企業人材の意見を取り入れた教育課程の再編成が急務。

③特記事項

インターンや職場見学などは折に触れ実施している。今後、カリキュラムの一部としてより体系的な位置づけをしたい。資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取り組んでいる。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

卒業生の進路については卒業生からの任意の連絡のみによっている。とくに留学生については、帰国後の進路の把握が難しい。

②今後の改善方策

卒業後のキャリアを追跡できるようアンケートなどの体制を整え、一定のデータが蓄積された時点でカリキュラム改善の資料とする。

③特記事項

進路相談を含めた学生サポートは推進しているが、少人数のため、就職率の向上という形では現れにくい。就職率の数字にとらわれず、進学も含め本人の希望を最大限に尊重した進路指導を目指している。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

①課題

経済的な問題で、学業に専念できない学生が出ることはないよう、独自のサポート体制の設置が望まれる。

②今後の改善方策

優秀な学生について、独自の奨学金制度または納付金減免制度の導入を検討。

③特記事項

小規模校のメリットに加え各担任の努力もあって学生・保護者との意思疎通は緊密にできている。

少人数ゆえ課外活動は学生の自主性に任せているが、要望があれば支援は可能。

また、社会人ニーズについては、服装科は昼間授業のみであるが、別科服装専科(社会人コース)で社会人を受け入れており、好評である。社会人コースについては休日の開講などニーズに向き合っているものの拡充を目指す。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1

・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

インターンシップについては連携企業における実施に加え、紹介企業による仲介を利用し十分な数の案件を提供できる体制が整いつつある。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題

募集に関わる人員の不足、広告宣伝の費用対効果の見直し

②今後の改善方策

学生募集の手法の全体的見直し。外部企業等とのタイアップ等、無料の手段活用による知名度向上。

③特記事項

昨年度の業務改善努力により学校の魅力を伝達する多様なツールを用いた学生募集が可能となった。教育内容・成果に関するフェアな情報を開示し、ありのままの学校を気に入ってくれた学生が入学を希望してくれる状況が作れている。今後も一層の周知に努め、学生数増加を目指す。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1

・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

財政情報の積極的公開

②今後の改善方策

HPの改訂により、公開が容易になったので、担当職員を増員し早期に取り組む。

③特記事項

学生数の増加により、前年に比して財政的には安定した。今後はその継続維持が課題となる。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

個人情報の取扱いについては日頃から教職員の意識涵養につとめ現在まで問題なく行っているが、新たな管理システム導入などにより万全を期したい。

②今後の改善方策

新たな情報管理システムの導入を検討中である。

③特記事項

学校自己評価については、教職員全員の意見を聴取したうえで率直に行っている。前年の評価を活用し、学生人数増加など一定の成果も出ている。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1

・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

③特記事項

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

①課題

学費の一括支払いが困難な留学生への対応

②今後の改善方策

28年度より分割納入を検討。

③特記事項

留学生の受入れについて、昨年度の学校評価を踏まえ比較的戦略的に動くことができた。具体的には、東南アジアからの留学生の複数受入れが実現。在籍管理も、人数増加にも関わらず細やかに行えている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度の学校評価も踏まえ、HPの改訂、進学情報サイトや紙媒体への積極的な掲載に努め、学生の増加を達成することができた。また、学生管理のデータベース化などにより、業務改善成果が得られた。業務効率化については今後も促進する。

一方で、学生数増加に伴い、個別的な就職・進学指導などキャリアサポートが今後の課題となると考えている。就職指導担当と担任教諭とが連携して学生の希望・個性にあったキャリア形成の助けとなるべく、研修等にも積極的に参加していく必要がある。

項目別の自己評価表(高等専修学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①生徒・学生の増加(前年から継続)②業務過程の見直しによる効率化

計画: ①ホームページの刷新、進学サイト等を利用したWEB上での学校案内の充実、学校訪問の強化、パンフレットの改訂による授業内容・学生サポート体制等の周知

②組織・業務部門の再編成と各教職員の業務の洗い出し・再分担による整理

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

①課題

服飾業界のニーズといっても幅広くあるが、その中から、本校の学生にマッチしたものを特に捉えてより具体的に人材育成に反映させていくことが必要となる。

②今後の改善方策

実際に人材を送り出す先となる地域企業を中心に、連携を強め、具体的なニーズを聞き出し反映する。教育目標・育成人材像については形骸化に終わらぬよう、折に触れトップダウン型で再確認を行い教職員全員が常にそれを意識して行動できるレベルにまで浸透させる。

③特記事項

連携企業への働きかけを熱心に行っている。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
------	---------------------------

・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

IT化による業務効率化、意思決定の簡素化・スピードアップ(前年度より継続)

②今後の改善方策

IT化は順調に進んでおり、行政庁とのやりとりなど今後よりいっそうの効率化が期待できる。意思決定過程については組織の見直しだけでなく、各教職員の意識づけも必要。

③特記事項

昨年度の課題とされたウェブ等による学校情報公開は、ウェブサイトの刷新などにより基盤が整い、達成されつつある。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1

・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視する伝統的校風を損なうことなく最新の職業実践教育を取り入れる方法を模索中である。

②今後の改善方策

企業人材の意見を取り入れた教育課程の再編成が急務。

③特記事項

インターンや職場見学などは折に触れ実施している。今後、カリキュラムの一部としてより体系的な位置づけをしたい。資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取り組んでいる。

(4). 生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	2	1
・生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

基本的な生活習慣の確立は、担任の指導により十分達成されている。また、教室の美化にも生徒ら自らが積極的に取り組んでいる。

現状では在籍数が少人数であるため、組織的な体制というものではないが、各担任・教頭等が家庭訪問、個人面談等を通して細やかなフォローを行っている。

(5) . 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 保護者会等と連携した活動を推進しているか	4 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

クラブ活動はないが、親睦行事や校外学習等、バリエーション豊かな教育活動を行うことは心がけている。
保護者会という組織はないが、保護者との連絡は個別のかつ緊密に行っている。

(6) . 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 進学率や就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

①課題

進学後の進路の把握。

②今後の改善方策

卒業後のキャリアを追跡できるようアンケートなどの体制を整え、一定のデータが蓄積された時点でカリキュラム改善の資料とする。

③特記事項

(7) . 生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1

・生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・生徒の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

進学希望者が多く、生徒にとってもキャリア・職業教育を目の前のこととして考えにくい現状がある。

②今後の改善方策

長期的なビジョンを持ちやすいよう、キャリア教育をよりいっそう工夫する必要がある。外部研修なども利用しながら教職員の指導スキルも向上させていく。

③特記事項

公的な支援が充実し、保護者の経済的な負担は非常に少なく済むようになった。

(8) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

インターンシップについては連携企業における実施に加え、紹介企業による仲介を利用し十分な数の案件を提供できる体制が整いつつある。

(9). 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・ 生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①課題

募集に関わる人員の不足、広告宣伝の費用対効果の見直し

②今後の改善方策

生徒募集の手法の全体的見直し。外部企業等とのタイアップ等、無料の手段活用による知名度向上。

③特記事項

昨年度の業務改善努力により学校の魅力を伝達する多様なツールを用いた生徒募集が可能となった。教育内容・成果に関するフェアな情報を開示し、ありのままの学校を気に入ってくれた生徒が入学を希望してくれる状況が作れている。今後も一層の周知に努め、生徒数増加を目指す。

(10) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

学生・生徒数の増減に波があり、中長期的な財政基盤の安定にまでは至っていない。

財政情報の公開も急務である。

②今後の改善方策

HPの改訂により、公開が容易になったので、担当職員を増員し早期に取り組む。

③特記事項

学生数の増加により、前年に比して財政的には安定した。今後はその継続維持が課題となる。

(11). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

個人情報の取扱いについては日頃から教職員の意識涵養につとめ現在まで問題なく行っているが、新たな管理システム導入などにより万全を期したい。

②今後の改善方策

新たな情報管理システムの導入を検討中である。

③特記事項

自己評価はHP上で公開している。前年の自己評価をもとに、改善点に着手し、前年よりも評価を上げることができている。

(12). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・ 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

ボランティアなどは、情報告知はしているが、生徒が積極的に参加するには至っていない。

②今後の改善方策

生活指導の一環として社会貢献活動の意義などを説いていく。

③特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度の学校評価を踏まえ、HP改訂と進学情報サイトの利用・中学校訪問の強化により問合せや体験入学の参加者数は着実に増えている。引き続き募集活動を行い、地域の中学生を中心に、ファッションに興味があり、熱意をもって取り組んでくれる生徒を獲得したい。

教育内容については、専修学校高等課程ならではの職業教育をどのように行っていくかが今後の課題と考える。現役の生徒においては進学希望者が多いが、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、教職員の研鑽も行う。